



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

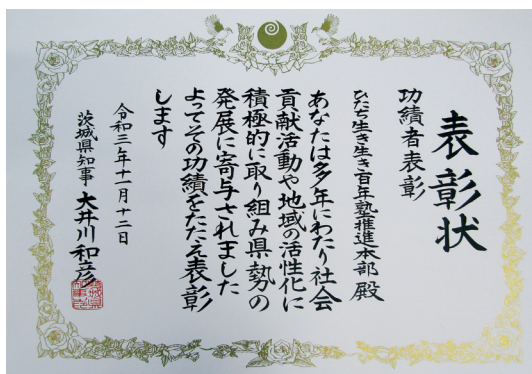
第145号 発行日/2021.11.20

発行/ひたち生き生き百年塾推進本部

編集/広報チーム



ひたち市民カレッジが研修として、「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」を見学しました。マンモスや恐竜の骨格標本を前にその大きさに驚き、地球生命の進化の様子を改めて知ることができました。



百年塾が長年の活動に対して11月12日
茨城県から功績者表彰を受けました。

【P2】

- 安心安全で楽しめるイベントを計画
百年塾ミニフェスタ情報
期間：2021年11月～2022年2月
- 「地球の歴史と日立の岩石展」案内

【P3】

- 常陸国風土記の世界を
訪ねてみよう⑧
～伊福部の岳～
- 「ひたち国際文化まつり」に参加
- 市民教授新登録

【P4】

- 講座で「生き生きワクワク」
- よろしく市民教授です！

11月歳時記

もみじが
【紅葉狩り】 秋の深まりと共にひととき美しくなる紅葉。紅葉を鑑賞する習慣は奈良時代から始まり、平安時代に貴族の間で広まったといわれ、「万葉集」にも登場します。
「狩る」とは獣を捕まえるという意味で使われていましたが、花や草木を探し求めたり鑑賞するという意味にも使われ、「紅葉狩り」と呼ぶようになったそうです。世界の国々の中でも、とりわけ日本の紅葉は美しいと言われています。



12月歳時記

とうじ
【冬至】 二十四節気の一つで、一年で最も昼が短い日です。12月22日頃にあたります。
冬至では、無病息災を願って柚子湯に入ったり、かぼちゃを食べる習慣があります。柚子湯は血行が良くなり身体が温まるので、風邪を予防し皮膚を強くする効果があるそうです。かぼちゃはビタミンEやβカロテンが豊富で肌や粘膜を丈夫にし、感染症などに対する抵抗力をつけることができそうです。



安心安全で楽しめるイベントを計画

コロナ禍の影響で、年間を通してさまざまな行事等の延期や中止が余儀なくされています。百年塾では、例年秋に開催していた「百年塾フェスタ」を形を変えて実施するなど、十分な感染症対策に基づいて工夫をこらし、市民のみなさんに安心して楽しんでいただけるような企画をしていきます。

百年塾ミニフェスタ情報

期間：2021年11月～2022年2月（随時）

会場：教育プラザ、市内公共施設、民間施設など

元気デコパージュ体験と緑のカーテン展示

【日時】**展示** 2021年11月～12月

体験 2021年12月10日(水)

【会場】元気カフェすけがわ【参加費】無料

【内容】**展示** シャドーボックス・デコパージュ

体験 クリスマスオーナメント作り

緑のカーテンの県北での活動ポスター展示



チアダンスで 元気を届けます！

【日時】年内

【会場】日立シビックセンター前広場

【内容】チアダンス発表

クリスマス前にゲリラライブ的にパフォーマンスをして、通りすがりのみなさんに元気を届けます！

日立二高の 「お花のじゅうたんを作ろう！」

【日時】2022年2月11日(金)～13日(日)

【会場】JR日立駅展望ホール

【内容】お花のじゅうたん・エコバック販売

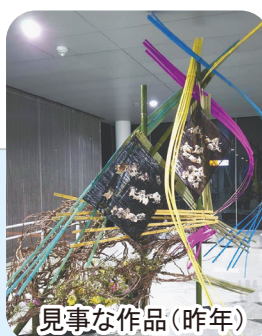
【参加費】無料

日立二高 JRC の生徒のみなさんが、たくさんの生花を使ってお花のじゅうたんを作ります。いっしょに参加してお花を並べてください。どんな絵ができるか楽しみです。



楽しくにぎやかに作品作り(昨年)

ミニフェスタは
今後も計画が出来
しだい、随時市内
各所で実施します。



見事な作品(昨年)

海景とアートのコラボ

日立の海を背景に、竹を使っての造形オブジェに、生け花とデコパージュで演出した作品を展示します。

【会場】JR日立駅展望ホール

【日時】**展示** 2022年2月17日(木)～23日(水)

体験 2022年2月19日(土)～20日(日)

午後1時～4時 ※先着各30名

【内容】**体験** デコパージュした器にお花を生けます。

【参加費】一人500円 ※詳しくは市報新春号で



道行く人から拍手が(昨年)

「地球の歴史と日立の岩石展」 ～日立を野外博物館にしよう！～

日立市では古生代から新生代までの岩石が収集されています。

この自然遺産の岩石を通して、地球の歴史に思いを馳せ、日立の地質の特性などを知る機会にしませんか。

日立の海にちなんだアーティストによる作品展示や楽しいワークショップもあります。

【日時】2021年12月21日(火)～

2022年1月16日(日)

【会場】日立市立南部図書館ギャラリー

【内容】・岩石展示 ・日立の化石展

・アート砂鉄やシーグラス作品展示

・ロックバランシング体験

・ワークショップ

「キラキラ水晶&海の宝物」つくり

①1/10(月)午前10時～午後2時

②定員：午前10時～11時

午前11時～正午 **各15名**

午後1時～午後2時

③申し込み12/10(金)から

※詳細は12/5号の市報で

【問合せ】百年塾サロン 23-9165

ロックバランシング



シーグラス作品



常陸国風土記の世界を訪ねてみよう ⑧

伊福部の岳

奈良時代初頭、全国各地で風土記編纂が行われた中で、茨城県をまとめた「常陸国風土記」。シリーズの最終回となる第8回は、川尻町付近と思われる伊福部の岳(いふくべのおか)を紹介します。

「常陸国風土記」の逸文に次のような話があります。

※逸文とは散逸して伝わらない、また一部しか残存しない文章

雷神伝説

「昔、兄妹が同じ日に田植えをしていた。『遅く田植えをしたものは、伊福部の神の災いを被るだろう』と言われていたが、妹の田植えが遅くなり、雷が鳴って妹を殺してしまった。兄は嘆き恨んで仇を討とうと思ったが、雷神の所在が分からない。そこに一羽の雌の雉が飛んできて兄の肩に止った。兄が雉の尾に麻糸を結ぶと、雉は飛び立ち伊福部の岳に上がった。追いかけていくと雷神が寝ている岩屋にたどり着いた。兄は太刀を抜いて雷神を切ろうとしたが、雷神は震え上がって許しを請い、『お許しくださいば、百年の後まで、あなたの子孫まで落雷の恐れはないでしょう』と。兄は雷神を許し、導いてくれた雉に対しては、この恩を忘れないと誓った。そのためこの地の人は雉を食べない」(大意)とあります。

かんぶり穴横穴墓群

伊福部の岳については、逸文には場所を示すヒントはありませんが、幕末から明治の歴史学者、栗田寛が「多珂郡河尻村に雉子明神の社があり、北3町(約300m)ほどにイブキ山がある。村人は昔から雉を食べない風習がある」と紹介しています。

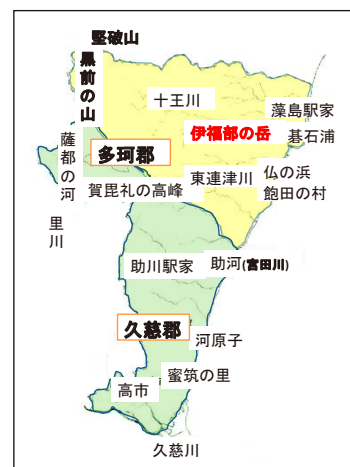
川尻には「お雉明神」と言われる白山神社がありました。白山神社は、現在の川尻町「はくさんまえ児童公園」附近にありましたが、1909年に豊浦中学校近くの館山神社に合祀されています。旧白山神社跡から北300mの場所にはイブキ山はありませんが、近くにはかんぶり穴横穴墓群があります。この墓群は昔から地元の人々に



かんぶり穴横穴墓群

「かんぶり穴」と呼ばれています。「かんぶる」とは「雷震または神震」と書き、雷神を意味するとの解釈があります。このことから雷神がいた伊福部の岳はこの横穴墓群のある一帯に結び付くのではないかとの説があります。この墓群は風土記が編纂された100年以上前に作られ、29基の横穴墓が確認されていて壁面に赤や黒の顔料を施した装飾穴も3基あり、現在は日立市の文化財に指定されています。雉が導いた雷神の寝ていた岩屋とは、横穴墓群の一つの穴だったのかもしれません。

十王駅の北側にはゴルフ場がありますが、最近でも野生の雉をみかける時があります。そして、旧白山神社と横穴墓群の間には現在工場がありますが、十王川に沿って広大な田園風景が展開されていたと思われ、風土記の世界が甦ってきそうです。※参考文献『常陸国風土記入門ノート』増田寧 他



ひたち国際文化祭りに一役

11月7日(日)、日立シビックセンターを会場に「ひたち国際文化まつり」が開催されました。百年塾は2階ホワイエで、笑い文字、世界のボードゲーム、バルーン

アートなど、バラエティーに富んだコーナーで参加、外国の人たちにも大いに楽しんで貰うことができました。

11月3日(水)～7(日)は展示コーナーも設けられ国際色豊かな会場となりました。



笑みがこぼれる笑い文字



いろいろな国の人と交流を深める

私たちは百年塾を応援します

2021.7.20～10.29(敬称略)

【個人】大越典一

市民教授登録

2021.7月～8月に登録の方(敬称略)

■渡邊真里恵／鮎川町

(内臓・経路調整ストレッチ、アスリートのための体幹トレーニング、運動能力を伸ばす親子体操、子育てママの心と身体のメンテナンス)

■顔淑英／田尻町

(国際理解[中国])

■池谷佳珠子／田尻町

(いのちの積み木)

講座で「生き生きワクワク!!」

新型コロナの感染が減少傾向となり、「生き生きワクワク講座」が再開されました。久しぶりに心が弾んで、講師の先生のお話を聞くことや作品作りにも熱が入りました。



着物リメイク



カルトナーージュ



アロマで抗ウイルス対策



似顔絵を描いてみよう



クリスマスオーナメント



足裏フットセラピー



自分史の楽しみ



よろしく 市民教授・まち案内人です！

百年塾には、あらゆるジャンルに約220名の市民教授が登録しています(10月末現在)。

日立でただ一人の切り絵講師

たけふた としお
竹蓋 年男さん (切り絵)



日立市出身の竹蓋さんは、2003年に塾の講師として真壁町へ赴任し、2007年から独学で切り絵を始めました。翌2008年には茨城県開催の第23回国民文化祭に初出品。作品は真壁町の風景やひな祭り、祇園祭などを題材にしたもので、真壁のまちおこしに役買っているそうです。

現在は日立市に住んで、真壁と日立で4つの教室を持ちながら各地で個展や展示会に出品し、何度も新聞の記事に取り上げられています。

切り絵教室では初級はコースター、ポチ袋、ブックカバー、動物の立体切り絵などを指導。年配の人にはポチ袋が、小・中学生にはクワガタなどの立体切り絵が人気だそうです。また「菓匠たけだ」のカステラの包装紙には竹蓋さんの切り絵が使われています。自分の住むまちが良いまちだということを知ってもらうために、今後も切り絵を紹介していきたいと抱負を語ってくれました。

小箱の中の空間をプロデュース

しらいし ともしこ
白石 知子さん (シャドーボックス・デコパージュ)



シャドーボックス歴約25年の白石知子さん。偶然出会った展示会を観てハッとする感情が湧いたそうです。その後シャドーボックス協会のマスター講師資格を取得し、大みか交流センターやカルチャーセンターなどで教室を開催しています。

シャドーボックスは17世紀中頃、フランス上流階級の夫人の間で流行したデコパージュの技法のひとつで、切り絵と重ね絵のように、紙に描かれた模様や絵の切り抜きを何層にも切り重ねて立体感をもたせたり、丸く膨らみを持たせたりして豊かな表現と奥行きを演出するハンドクラフト工芸です。

本格的な作品作りには1ヵ月から半年ほど時間をかけるそうですが、教室では「明るく楽しく自分のペースで」をモットーに、初心者向けの15分位でできる体験から、数週間かけて作るものもあるようです。12月末まで元気カフェすけがわで作品展示中とのこと、3Dと影空間の芸術を味わってみてはいかがでしょうか。

■百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています

- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン(日立市教育プラザ1F) 〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail iki100j@net1.jway.ne.jp

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎050-5528-5126

